

農林水産分野のキャリアプラン

分 野	農林水産分野
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●内部管理事務 <ul style="list-style-type: none"> ○ 総務・議会、人事・労務、予算・経理（会計）、その他一般総務関係等 ●各種事業に係る事務 <ul style="list-style-type: none"> ○ 組合指導、食品表示・卸売市場関連事務、農地法・農振法・土地改良法関連事務、野生イノシシ対策関連事務、県有林関連事務、その他各種補助事業関係事務等
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> ・農業水産局、農林基盤局、本庁各課 ・農業水産局、農林基盤局、地方機関 ・他分野の本庁各課又は地方機関
め ざ す 職 員 像	高い実務能力と協調性を備え、県の農林水産部門を多角的な視点で見渡すことができ、円滑に農林水産行政を運営する能力がある職員
育成の考え方	
<p><主事級（ジョブローテーション期間）> 【職員としての基礎固め】 ジョブローテーション期間中に、本庁を含め様々な業務を経験し、県の仕事の全体像を把握するとともに、個の能力を高めていく。</p> <p><主事級（ジョブローテーション期間終了後）～主任級> 【キャリアの軸探し】 今後のキャリアの軸を探すために、特定の分野の業務に継続的に取り組み、自らの適性を考えつつ、専門能力を高めていく。</p> <p><主査級・課長補佐級> 【実務の要＋グループ運営の補佐】 実務の要として主体的に企画・立案を行い、事業を推進するとともに、将来の管理的立場を意識して、更なる能力の向上を図り、自らの専門性を見極めを行う。 また、グループの中核として、円滑な業務推進や困難な課題の解決に取り組むとともに、これまでのキャリアを踏まえて、将来必要とされる能力を伸ばす。</p> <p><課長補佐級（班長）> 【グループマネジメント力の発揮】 これまでに習得した知識・経験・能力等を活かすことができる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。</p>	

《農林水産分野のキャリアイメージ》

区分	農林水産分野		キャリアプラン例①	キャリアプラン例②
	異動・配属の考え方	必要とされる知識・能力		
新規採用 主事級 (採用後7年間)	【職員としての基礎固め】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・複数の所属の業務に従事する中で、今後、職員としてキャリアを積んでいくための基礎力を身につける。 ・早期に本庁を経験し、県の仕事の全体像を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><ジョブローテーション期間中における、配属又は異動の考え方> 県の仕事の全体像を把握し、幅広い視野や知識・能力を習得するとともに適性を見出すため、採用後2回の異動で下記の①から③までの内容を体験できるように計画的に異動を行う。</p> <p>① 複数の局を経験する。 ② 可能な限り、採用3年目までを目途に本庁を経験する。 ③ 3ヶ所の所属を経験する。 ※異なる職務分野を経験することを原則とする。</p> </div> ■分野特有■ ・他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。	①仕事の正確さ ②積極性 ③規律 ④チームワーク <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・所属の庶務、支出、物品管理 ・担当事務に係る予算要求 ・担当事務に係る法規則の理解と運用 ・内外の関係者との調整、相談対応 </div>	採用所属(地方機関) 農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G ・分野内本庁 ・事業 農業水産局農政部 農政課 予算 G ・分野内主管課 農林基盤局農地部 農林総務課 予算 G ・分野内主管課	採用所属(地方機関) 福祉局障害福祉課 事業所指導第一 G ・分野外本庁 ・事業 農林基盤局農地部 農林総務課 予算 G ・分野内主管課
主事・主任級 (採用8年目から主査級昇任まで)	【キャリアの軸探し】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・ジョブローテーション期間中に身につけた基礎力を高め、新たに行う業務に応用する。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は多様な業務を経験し、自分の適性を見出す。 ・キャリアの軸が定まった場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・班長、主査等からの指示に基づいて幹部相談資料等の作成を行い、資料作成力や相談力を高める。 ■分野特有■ ・局内調整を行う所属を経験し、局内の調整方法を身につける。 ・様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政への理解を深める。 ・主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。 ・他の行政分野や県以外での業務を経験し、幅広い視野や多面的な考え方を身につける(他局、県・市町村職員人事交流)。	①判断力 ②創意工夫 ③責任感 ④後輩育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・所属の庶務や予算の総括 ・庁内会議や市町村向け説明会の開催 ・担当事務に係る企画・立案 ・幹部相談資料の作成 </div>	農林基盤局農地部 農地計画課 換地・指導 G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験 総務局総務部法務文書課 法規 G ・分野外本庁 ・法制執務 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる	農業水産局農政部 食育消費流通課 市場・食品表示 G ・分野内本庁 ・内部管理と事業をバランスよく経験 尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約 G ・分野内地方機関 ・本庁と地方機関をバランスよく経験
主査級 ・ 課長補佐級	【実務の要+グループ運営の補佐】 <input type="checkbox"/> 共通口 ・実務の要として、グループの主要業務を担う。 ・主体的に知事相談資料や議会答弁の作成を行い、説明力を高める。 ・キャリアの軸が定まっている場合は、新たな業務を経験し、キャリアの幅を広げる。 ・キャリアの軸が定まっていない場合は、特定の業務に継続的に取り組み、自らの強みを形成する。 ・1度経験した所属(業務)を再度経験し、当該業務の遂行能力を高める。 ・班長を補佐し、全体の調整役として、円滑なグループ運営に貢献する。 ・将来の管理的立場を見据え、高度な調整業務を経験する。 ■分野特有■ ・局内の調整を行う所属で、主要施策の調整を行い、局内調整力に加えて、対外折衝力を身につける。 ・様々な専門性を持った部門内の技術系職員や国・市町村、企業等と業務上のやりとりを重ねることで、農林水産行政を多角的に見渡すことができる視点と、円滑に運営する能力を身に付ける。 ・主管課と事業課、地方機関をバランスよく経験する。	①改革・改善 ②説明・調整力 ③見識 ④使命感 ⑤人材育成力 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される事務レベル】 ・局の予算・人事総括、会検対応 ・審議会等の外部有識者会議の開催 ・担当事務について、高度な調整が必要となる案件への対応 ・知事相談・報告資料の作成 ・議会答弁作成 </div>	農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約 G ・分野内主管課 ・事業課の経験を活かす 農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G ・分野内本庁 ・2回目の所属経験 ・主要業務を担う 農業水産局農政部 農業振興課 農地管理 G (班長) ・これまでの経験を活かす(事業)	尾張農林水産事務所 防災安全課 防災安全 G ・分野外地方機関 ・キャリアの幅を広げる ・人事交流、視野を広げる 農林基盤局農地部 農林総務課 経理・契約 G ・分野内主管課 ・現場の経験を活かす 尾張農林水産事務所 総務課 経理・契約 G (班長) ・これまでの経験を活かす(内部管理)
課長補佐級 (グループ班長)	【グループマネジメント力の発揮】 ・これまでに習得した知識・経験・能力を活かせる農林水産分野の各グループ班長として、組織力を発揮して業務を推進する。	①調整・折衝力 ②情報収集・活用 ③リーダーシップ ④人材育成・指導力		

ジョブローテーション

知識・能力を習得・発揮